

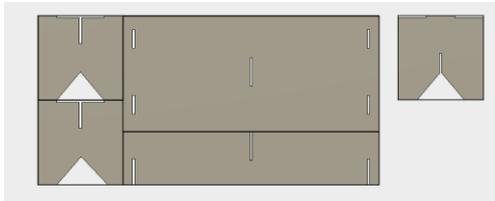
【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	宮城教育大学	個人・グループ名	水谷研究室3年生	作品名	コンパネ椅子
-----	--------	----------	----------	-----	--------

## 目的

今回のコンパネ椅子の製作では、実用的なものを自分たちで作ることで、ものづくりのトレーニングとなることを目指した。今まで本研究室では、キャンプ研修を行ってきており、そのキャンプで使用するコンパネテーブルを製作してきた。そこで今回は、テーブルとセットで使うことのできる椅子の製作を考えた。また、キャンプにおいて、食材等を地面に直接置くことを防ぐため、それらを置くことのできるローテーブルとしても使えるような椅子を製作した。

## 椅子の製作について



天板と脚の接合部分は、L字金具と蝶ねじを用いることで、簡単に取り外しすることができ、持ち運びも簡単になる。

参考にした図面は、ローテーブルの図面だったため、両端にしか脚がなかったが、今回製作するものは椅子としても使用したかったため、中央にも脚を取り付けた。脚を両端と中央に付けることで、どこに座っても安定して座ることができ、強度の強い椅子を製作することができた。

コンパネ椅子は、1枚とわずかな材料で製作することができるため、安価に製作することができる。

また、今回椅子を製作するなかで、私たちは今まで扱ってこなかった、さまざまな機械を使用した。そのため、ものづくりのトレーニングになった。



## 評価

コンパネ椅子は、去年までに製作したコンパネテーブルとセットで使用した。

このコンパネ椅子は、強度が安定した椅子としてだけでなく、食材などの、物を置くローテーブルとしても使うことのできる実用性のあるものとなった。

製作において使用した機械では、スライドソーやルーターなど、これまで使用してこなかったものを使うことができたため、ものづくりのトレーニングの素材としては適切なものであったと言える。

